

## 2023年度事業計画

### 第12(61)事業年度

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

#### 基本方針

昨今の社会情勢における地球規模での環境問題が叫ばれ、気候変動のリスクが増大しており、サステナブル（持続可能）な社会活動が求められていることから、今後も引き続き S D G s（持続可能な開発目標）に沿った事業活動を展開していくとともに、海事思想の健全な普及啓発活動を継続するための次世代人材育成を行っていく。

『マリンスポーツ普及事業』では、「未来に残そう！わたしたちのマリンフィールド」をスローガンに、広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供しつつ、海洋プラスチックや温室効果ガスなどの地球規模の問題をイベントやワークショップなどで紹介する。また地域社会やマリンスポーツ愛好家、そして次世代を担う子どもたちに対しきれいな海を残すため、海洋問題に取組むとともに、水辺の安全知識の普及に努める。

『水上安全啓発事業』では、近年アウトドアレジャーの人気に伴って、水辺における事故やトラブルも増加し、これらへの対策が課題となっていることから、各地域自治体や海上保安部署、安全啓発団体と連携して、水上安全教育や啓発活動を通じて水域の健全利用を促進し、安全に楽しめる水辺環境の維持、持続に努める。

『施設マネジメント事業』では、親水護岸を有する港湾緑地公園やボートパーク（小型船舶係留施設）の指定管理者として、広く一般に対し「水辺への親しみと安全振興」及び「適正かつ有効な水辺利用の環境整備」を推進するとともに、これら施設の有効活用と適正な管理運営を図り、人々の健康増進や次世代の子供たちの健全な育成に努める。また昨年度より開始したオフィスビルの管理業務も引き続き継続し、その収益は公益目的事業へ還元し、財務体質を強化する。

『マリンスポーツ助成事業』では、本年度より新たな公益事業として、若い世代の進学や調査活動等に対する助成と海洋環境の保全や海洋スポーツ活動における次世代の人材育成と団体活動をさらに促進する。

以上、公益財団法人として、全ての事業活動を通じて広く一般に対し「水辺の関心と理解・安全確保・環境保全」を育む機会を提供するとともに、次世代への継承と同時に世界の開発目標である S D G s に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて貢献していくものとする。

## 実施計画

### I 公益事業 (159,503,000 円)

S D G s を意識したマリンスポーツの体験と機会を提供するとともに、水辺の安全啓発活動を展開し、マリンスポーツ関連施設の管理運営を行う中で、「健全な青少年の育成」や「水難事故の防止」、「マリンスポーツ活動水域の整備」などを図ることと合わせて、社会ニーズに沿った広報活動や適切な器材整備等を行う。

#### 1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業

(25,140,000 円)

広く一般にマリンスポーツ体験の機会を提供し、マリンスポーツの魅力や楽しさ、環境保全意識、水辺の安全知識、ライフジャケットの有用性を広めていく。

また、地域社会と協働して海洋プラスチックや温室効果ガスといった地球規模の課題や S D G s についてわかりやすく知ることができ、身近に感じるイベントなどを通じて、事業テーマである「未来に残そう私達のマリンフィールド」の達成を目指す。

- 該当する S D G s -

1 3 [気候変動]・1 4 [海洋資源]

#### (1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

##### ① 「未来に残そう私達のマリンフィールド」プロジェクトの展開

「S D G s に興味を持ち、理解し、アクションに繋げるきっかけを提供することで、マリンスポーツ愛好家や次世代を担う子どもたちとともに、未来にきれいで豊かな海を引き継ぐ活動を横須賀市の管理施設を中心に行き開する。

###### a. 3 R 活動 (REDUCE・REUSE・RECYCLE) の周知

開催時期：6月～10月（4回）

開催場所：深浦ボートパーク・浦賀ボートパーク・港湾緑地他

実施内容：S D G s について、わかりやすく伝えるイベントの開催

###### b. 学ぶ場の提供

開催時期：5月～3月（10回）

開催場所：市内の学校、深浦・浦賀ボートパーク・港湾緑地他

実施内容：シービン等を活用した学校とのタイアップ授業や環境系イベント

c. 脱プラマリンレジャー製品のパートナー開拓と海洋ゴミ回収装置の調査

d. ソーシャルメディアによる活動の周知

目標：フォロワー数 3,000 名の達成

配信回数：60回の達成

## ② 親水イベントの開催・支援

a. マリンマルシェ in 蘇我

開催時期：4月

開催場所：フェスティバルウォーク蘇我（千葉県千葉市）

実施内容：体験乗船会、マリンスポーツ安全講習会他

目標：参加人数 200名

b. マリンスポーツフェスタ in 碧南

開催時期：5月

開催場所：勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市）

実施内容：福祉施設等利用者向けの体験乗船会他

目標：参加人数 200名

c. 隅田川水面の祭典

開催時期：5月

開催場所：隅田公園（東京都台東区）

実施内容：体験乗船会他

目標：参加人数 200名

d. マリンスポーツフェスタ in 海の森水上競技場（東京都江東区）

開催時期：6月

開催場所：海の森水上競技場（東京都江東区）

実施内容：体験乗船会、アーバンスポーツ体験会他

目標：参加人数 400名

## ③ ライフジャケットの着用推進活動

水難事故防止における「自助」を促進する観点から、水辺の活動におけるライフジャケット着用の定着化を目指し、適切な利用方法と着用意識の向上を図る。

#### a. ライフジャケットレンタルステーションの拡充

ライフジャケットの着用意識を啓発する場として、全国の海水浴場や水辺の施設等と連携し、ライフジャケットの有効性や適切な利用法を周知することにより水辺における安全性とライフジャケット着用率の向上を図る。

新規開設：2ヶ所（合計22ヶ所）

整備：老朽化に伴う補充、展示ラックの配備

### ④ 次世代の人材育成

海事産業の将来的な活性化のため、次世代の担い手たる海洋高校生ならびに大学生等の教育を支援する取組みを行う。

#### a. 海洋高校等に対するマリンスポーツ教育等の支援

##### (a) 神奈川県立海洋高校のマリンスポーツ教科

開催時期：4月～9月（12回）

開催場所：横須賀市内

実施内容：教育カリキュラムとしてのマリンスポーツ実習

##### (b) 新潟県立海洋高校のマイスターハイスクール事業への参画

開催時期：7月～9月（5回）

開催場所：海洋高校、能生海岸（新潟県糸魚川市）

実施内容：水上オートバイの体験乗船

イベント企画に関する座学実習

海洋高校生によるマリンスポーツイベントの開催

##### (c) 全国の水産、海洋高等学校への展開に向けた調査

### ⑤ 広報活動の拡充

社会のニーズに合わせた広報戦略として、ホームページやSNSによる世界への情報発信に、SDGsに関する内容の強化、及び効果的に当財団の取組みをアピールし、健全で安全なマリンスポーツの普及を促進する。

#### a. ホームページ

当財団のプロフィールをはじめ、各事業の内容や年度スケジュール等を誰もがわかりやすく閲覧できるよう運用管理していくことを目指す。

#### b. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

当財団のイベント情報の効率的な拡散を図るため、日々情報発信

をするとともに、企画配信、及び有料掲載を定期的に実施し、マリンスポーツファン以外にも楽しんでもらえるようなコンテンツを世界に向けて、発信することで、マリンスポーツの普及及びフォロワー数の増加を目指す。

( a ) Facebook

目 標：フォロワー数 15,000 名の達成（50%増）

配信回数：250 回の達成

( b ) Twitter

目 標：フォロワー数 2,500 名の達成（56%増）

配信回数：250 回の達成

( c ) YouTube

目 標：チャンネル登録者数 1,000 名の達成（43%増）

配信回数：20 回の達成

c . 写真・映像撮影

( 2 ) 管理施設を活用したマリンスポーツの啓発事業

① 管理施設におけるマリンスポーツの啓発活動

a . 横須賀うみかぜカーニバル

開催時期：6月～10月

開催場所：深浦ボートパーク、浦賀ボートパーク

海辺つり公園、うみかぜ公園

実施内容：マリンスポーツ体験、水辺の安全教室他

目 標：参加人数 400名

b . うみかぜマリンスポーツスクール

開催時期：7月～9月（4回）

開催場所：うみかぜ公園（神奈川県横須賀市）

実施内容：カヌー、SUP、SUPヨガ等のスクール

目 標：参加人数 30名

c . うみかぜパドルF E S

開催時期：6月（1回）

開催場所：うみかぜ公園（神奈川県横須賀市）

実施内容：マリンスポーツ体験

目 標：参加人数 100名

d . F I S H I N G P A R T Y in 海辺つり公園

開催時期：5月

開催場所：海辺つり公園（神奈川県横須賀市）

実施内容：釣り大会、水辺の安全教室他

目標：参加人数 200名

(3) 調査、整備及び共通事業等

- ① 各種器材の整備・管理
- ② 関連団体との連携強化
- ③ 新規指定管理施設等の調査
- ④ I o Tを活用したマリンレジャーの安全についての調査
- ⑤ 指定管理施設における自主事業の実施

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業 (3,400,000円)

水難事故防止の「公助」、及び「共助」を促進する観点から、国土交通省、海上保安庁、及び水上安全啓発団体等と連携し、水域利用者への安全意識の向上を図り、水辺の安全と健全利用、環境整備に努める。

- 該当する S D G s -

3 [保健]・4 [教育]・17 [実施手段]

(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

地域における海上保安部署、小型船安全協会、及び安全啓発団体等と連携し、パトロールや水域利用者への指導や啓発活動により、水上の健全利用を促進する。

- ① 地域活動に対する協力、支援

a. 連絡会議等への参加

開催時期：通年

開催場所：兵庫県神戸市、明石市、愛知県名古屋市他

b. 安全啓発活動への協力

開催時期：4月～10月

開催場所：各地

対象：水上オートバイ、プレジャーボート等利用者

c. 安全講習会及び安全指導

開催時期：4月～10月

開催場所：東京都江東区他

対 象：水上オートバイ、プレジャーボート等利用者

② 安全講習会等の実施

海上保安庁、運輸安全委員会、施設管理従事者等に対して研修や講習を通じて事故防止対策の充実や安全意識の向上を図る。

a . 安全運航講習会

開催時期：6月～10月

開催場所：未定

対 象：海上保安部署安全対策官・運輸安全委員会事故調査官  
海上安全指導員等

b . ウォーターセーフティエキスパート（救急救命コース）

開催時期：6月～10月

開催場所：神奈川県横須賀市他

対 象 者：施設管理者、マリンスポーツ競技等安全担当者他

③ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

マリンスポーツイベントや競技会等において、警戒及び救助等安全管理体制の整備と強化を図る。

a . マリンスポーツ競技会における安全管理体制の強化

開催時期：5月～12月

開催場所：神奈川県逗子市、三浦海岸、東京都三宅島他

実施内容：オープンウォータースイミング大会他

④ 映像等による安全啓発

水上オートバイ等の安全啓発動画などを作成し、Webサイトを通じて一般利用者の安全意識の向上を図る。

(2) 国内外における水上安全に関する連携強化

① JBWSS (Japan Boating & Water Safety Summit) : 国内における水上安全サミットの実施

国土交通省、海上保安庁、(一社) 水難学会、(一財) 日本海洋レジャー安全・振興協会、(公社) 関東小型船安全協会、(株) 舵社と連携し、安全運航及び水上安全に関わる団体間の情報の共有、効果的な連携を促進することにより更なる水難・海難の防止、安全対策の向上を図る。

開催時期：6月

開催場所：東京都内またはオンライン

目標：参加30団体（100名）

### 3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業 (49,000,000円)

当財団のマリンスポーツに関する知識や実績を活用して、マリンスポーツ関連施設の安全管理業務を行う。

- 該当するSDGs -

3 [保健]・4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・15 [陸上資源]

#### (1) 横須賀市立うみかぜ公園等の運営管理事業（指定管理事業）

マリンスポーツ等を安全で楽しめる場所として、うみかぜ公園及び本格的な釣りが楽しめる場所と多様性のある過ごし方ができる海辺つり公園の2ヶ所の施設を適正な維持管理や運営に努めるとともに、利用者サービスの向上や、周辺海域の安全管理、地域住民との交流などを通じて、横須賀市民に愛される公園づくりを行う。

##### ① 管理運営業務

- a. SDGsを意識した施設の適正な維持管理と運営
  - ・ゴミの分別廃棄
  - ・イベントやBBQにおけるSDGs活動
- b. 施設の有効活用
  - ・海浜を活用したマリンスポーツイベント等の開催や誘致
  - ・公園活性化イベントの開催（マリンスポーツ教室、スクール等）
- c. 利用者サービスの向上
  - ・SNSを活用した施設情報の発信
- d. 来園者に対する啓発活動
  - ・環境保全
  - ・水辺の安全
- e. 周辺海域の安全管理
  - ・小型ボートによる救助体制

#### 4. マリンスポーツ助成事業

(3,100,000 円)

当財団は、次世代の人材育成と海洋活動をさらに促進するため、進学や調査活動等に対する助成制度を設け、特に若い世代のマリンスポーツや水辺活動を取り巻く課題への関心を高めるとともに、水辺・海洋活動を促進する団体への課題解消の一助とする。

- 該当する S D G s -

4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]・15 [陸上資源]

##### (1) 助成内容

水産・海洋高校生及び大学生の次世代海洋人材育成のための進学を目指す者や水辺活動に係る個人及び団体の社会貢献性、利益性、持続性のある海洋活動等に支援を行いマリンスポーツの健全な普及を図る。

##### (2) スケジュール

- ① 募集期間：10月～1月
- ② 選考委員会：2月
- ③ 対象者への決定：3月
- ④ 給付開始：3月

##### (3) 助成対象

- ① 海洋活動支援
  - a . 海洋関係の進学を目指す者
  - b . 海洋性レクリエーションの普及啓発
  - c . 水上安全の普及啓発活動
  - d . 水辺活動等の団体及び会社を設立
- ② 団体支援
- ③ 調査活動支援
  - a . 水上安全、水難や海難防止に関する調査
  - b . 水辺・海洋環境保全に関する調査

## II 収益事業

(108,029,000 円)

指定管理業務における収益施設の管理運営や、施設利用者への啓発活動を通じて、安全運航意識の向上と水域利用の健全化を図る。なお、当事業における収益は、管理施設の修繕費等として還元するほか、小型船舶の利用振興や安全

運航教育を目的とした事業に還元する。

## 1. 特殊小型船舶操縦講習事業 (580,000 円)

水上オートバイ運航時におけるルールやマナー、安全運航技能の習得に重点をおいた特殊小型船舶操縦免許の取得講習会を運営する。講習会においては、海洋汚染防止等の海洋環境保全に寄与するため、安全運航意識とともに環境保全意識の啓発に努める。

- 該当する S D G s -

4 [教育]・14 [海洋資源]

### (1) Maris ジェットスクールの運営事業

ボートレース場の安定した水面や快適な施設を活用して安心安全な免許取得講習会を実施する。

開催時期：5月～3月

開催場所：多摩川ボートレース場（東京都府中市）

桐生ボートレース場（群馬県みどり市）

## 2. マリンスポーツ施設の運営事業 (62,700,000 円)

当財団のマリンスポーツに関する知識やノウハウを活用して、船舶の保管施設などマリンスポーツ関連施設の管理運営を行うとともに、施設利用者の海難事故防止や、地域住民の健康増進、健全な青少年の育成に寄与するため、安全講習会の開催や、地域住民を対象としたイベントの企画開催などをを行う。

- 該当する S D G s -

4 [教育]・13 [気候変動]・14 [海洋資源]

### (1) マリンスポーツ関連施設の管理・運営（指定管理業務）

指定管理者として、「横須賀市立深浦ボートパーク」ならびに「横須賀市立浦賀ボートパーク」の管理運営を行う。日頃より施設の適正な維持管理や運営に努めるとともに、安全航行の指導や、利用者サービスの向上、地域住民との交流などを通じて、市民に愛される施設づくりを行うとともに S D G s を意識した管理運営を図る。

#### ① 管理運営業務

a. S D G s を意識した施設の適正な維持管理と運営

- ・海洋浮遊ゴミ自動回収機（シービン）の実演展示
- ・ゴミの分別廃棄
- b . 施設の有効活用
  - 横須賀の魅力再発見クルーズ
  - 開催時期：4月～10月（各月1回）
  - 開催場所：深浦ボートパーク、浦賀ボートパーク
- c . 利用者サービスの向上
- d . 来園者に対する啓発活動
  - ・環境保全
  - ・水辺の安全
- e . 安全航行指導
  - ・ボートパーク安全講習会

### **3. オフィスビル賃貸事業 ( 23,340,000 円)**

当財団所有のAQUAビル（地上6階、地下2階）において、当財団本部事務所として使用するほか、一般に対し事務所の賃貸を行う。

所 在 地	東京都中央区築地4-3-11
賃貸施設	事務所 13室
	倉 庫 1室
業務内容	事務所及び倉庫の賃貸
	空きスペースの有効活用

## **III その他継続事業**

### **1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業 (4,600,000 円)**

マリンスポーツ等水辺活動の健全な普及を図るため、マリンスポーツ競技団体等に対して活動支援を行う。

#### **(1) マリンスポーツ競技の活動支援**

- ① 競技団体等への活動支援
- ② Maris サポーターとの連携

Maris サポーター（Water Safety パートナー）と連携して事業を効果的に推進する。